

1 単元名 場面のうつりかわりをとらえて，感想をまとめよう

教材名 「ちいちゃんのかげおくり」 あまん きみこ

2 指導の立場

(1) 単元で付けたい力

本単元の学習を通して，付けたい力は以下の通りである。

場面の移り変わりに注意しながら読み，人物の行動，情景，会話などの表現に着目して読むことができる。
読む

物語を読むときには，一つ一つの言葉や表現，状況の描写を大切にし，児童の五感に訴えながら読ませる。また，場面と場面のつながりや場面の役割に気を付けて読むことや細かい言葉の表現の違いに気を付けて場面の様子や人物の気持ちを想像しながら読むことで確かな読みの力を身に付けさせる。

(2) 単元・教材について

本単元の学習では，登場人物の会話文や様子を表す言葉からどんな気持ちが想像できるのかを考えさせたり，場面ごとに感想をもたせ，それはどの部分から感じたのかを明確に表現させたりして，叙述に即した読みを大切にしたい。本教材は，児童が初めて出会う戦争作品である。自分たちの生活とは遠くかけ離れた過去の出来事の「戦争」や当たり前と思っている家族との生活，命，未来などの「平和」を，主人公「ちいちゃん」の目を通して，客観的に自分自身の目で見つめることになる。そこで，第一場面と第四場面の「かげおくり」の違いを考えながら，ちいちゃんが一人でした「かげおくり」について考えさせたり，五場面がなぜあるのかを話し合わせたりすることで，戦争が過去だけの話ではなく，命や未来までも奪ってしまうものであることや，平和の大切さについて関心を高めさせていきたい。また，戦争がちいちゃんから奪ったもの，奪えなかったものを考え，本教材の主題についても考えさせる。

(3) 言語活動とその特徴

本単元を貫く活動として「心を打たれたことを感想に書こう。」とし，単元を通じた言語活動として「感想文交流会をしよう。」を設定した。毎時間感想を書かせたり，感想文交流会を開くことで，場面の移り変わりに着目しながら読み，登場人物の行動や情景，会話などの表現に着目して読んだりすると考えた。さらには，自分の感想を明確に表現するための言葉を選び，工夫して書いていくことに活かせる言語活動である。

【読むこと単元と言語活動の計画】

<p>1学期 きつつきの商売 もうすぐ雨に</p>	<p>場面の様子や違いに注意しながら音読を工夫し，発表することができる。 文章を読んで考えたことを発表し合い，一人一人の感じ方について違いのあることに気づくことができる。</p>	<p>【言語活動計画】 音読会 読書会</p>
<p>2学期 ちいちゃんのかげおくり 三年とうげ</p>	<p>場面の移り変わりに注意しながら読み，登場人物の行動，情景，会話などの表現に着目して読むことができる。 物語を読んで考えたことを発表し合い，一人一人の感じ方について違いのあることに気づくことができる。</p>	<p>感想文交流会 感想文交流会</p>

3学期 モチモチの木	登場人物の行動や会話から，人物の人柄や気持ちをとらえ捉えて読むことができる。	ポスター作り
---------------	----------------------------------------	--------

3 研究とのかかわり

(1) 教材と向き合い，既習事項と比較し，自分の考えをもつことができたか(教材との対話)(自分との対話)

導入時に児童の意欲を引き出し，単元・単位時間の見通しをもたせるための工夫

単元の導入時に題名からどんな話なのかを想像し，思ったことを交流させることで，物語への興味関心を引き出す。また，「ちいちゃんの気持ちを読み取り，毎時間心を打たれたことを感想に書き，最後に感想文にまとめ，交流会を開こう」を単元の出口として，「教材文を場面ごとにしっかり読み取ろう」という目的意識を児童にもたせる。そのために，場面ごとの「ちいちゃん」の行動や会話文，気持ちの変化や情景などの表現をていねいに読み取らせる。

個の考えをもたせるための課題設定や，考えを作るための視点を与える工夫

本単元では，教材文の内容を理解できるように，最初にあらすじをつかみ，場面分けを通してちいちゃんの気持ちを考えることをおさえる。次に，ちいちゃんの気持ちを叙述を基に読み取ることを位置づけ，ちいちゃんの気持ちが分かると思った行動や情景，会話の表れているところにサイドラインを引き，自分の考えを深める手立てとする。一人読みの時間を十分にとり，ちいちゃんの気持ちが想像できる叙述を見つけれられるようにする。その上で，交流するために選んだ箇所と本文を書き出し，考えをノートに書き込むように指導する。また，ノートへの記入ができたものから順に相手を見つけペア交流をする。尚，その交流の時には，相手の考えや気持ちを聞いて書き足したり，書き直したりする。自分の意見や感想を述べる際には，必ずそのように考えた根拠や理由を明確にさせる。それにより仲間との交流内容がより具体的になる。そうすることでさらに考えを深めたり，広めたりすることができる。と考える。

個人で読み取った後にグループ交流，全体交流を行うことでより具体的にちいちゃんの行動や気持ちを深めることができるように，また，叙述をもとにした感想がもてるようにする。

(2) 仲間と共に考えを練りあい，自分の考えを高めることができたか(仲間との対話)

展開時の交流において自分の考えを広げたり，深めたりできるような形態，交流の仕方の工夫

場面ごとの読み取りをもとにして，心を打たれたことを感想に書く活動を毎時間位置付け，交流することによってさらに読みが深まると考える。

グループ交流は，4，5人のグループで行う。一人ずつ自分の選んだ叙述に理由をつけて発表する。その後，友達の発表を聞いて共通点や相違点に着目した感想を話すようにする。グループ交流の最後に感想を話すことを位置づけることで，仲間の発表を比べて聞く必然性をつくる。

全体交流では，グループ交流の感想を踏まえながら自分の考えも付け加えて発表することで，共通点や相違点を認め合い，同じ文章を読んでも感じ方に違いがあることや多様な感じ方があることに気づかせたい。

(3) 学習内容を確実に理解し，自分の考えを深めることができたか(自分との対話)

終末時に，自分の考えの変容を振り返り，学びを実感するためのまとめの仕方の工夫

振り返りでは，友だちとの考えの違いなどについて書けるような用紙を用意する。友だちと同じところやちがうところに気づけた。かんじ方が変わった。新しく発見した。の3つの視点を与える。また，視点については，常に見直せるように提示する。

4 単元指導計画（全11時間）

次	時	ねらい	学習活動	評価規準
1	1 2	初発の感想をもち、学習の見通しをもつことができる。	<p>始めの感想を書き、学習の計画を立てよう。</p> <p>題名やリード文を読み、学習のめあてをもつ。 題名から、どんな物語かを想像する。 範読CDを聞く。 感想を書き、交流しながらあらすじをつかむ。 ちいちゃんを中心に読んでいくことや、毎時間心を打たれたことを感想に書くこと、学習のまとめの感想文を書くなどの流れをつかむ。 新出漢字の練習をする。</p>	初発の感想を交流することで、「場面の移り変わりをとらえて、心を打たれた場面を中心に、感想をまとめましょう。」には、場面ごとのちいちゃんの気持ちを読み取ることが必要であることが分かり、学習の見通しをもっている。読(1)ウ
<p>(単元を貫く課題) 『ちいちゃんの気持ちを読みとり、心を打たれたことを感想に書こう。』 (単元を通した言語活動) 『感想文交流会を開き、一番心を打たれた場面を伝える感想文交流会をしよう。』</p>				
2	3	家族みんなでかげおくりをすることでちいちゃんの様子や気持ちを読み取り、感想を書くことができる。	<p>前時の学習を振り返る。 課題を確認する。</p> <p>家族みんなでかげおくりをすることでちいちゃんの気持ちを読み取り、感想を書こう。</p> <p>第1場面を個人音読する。 ちいちゃんの気持ちが分かる行動や会話文、様子の言葉にサイドラインを引き、ちいちゃんの気持ちを考える。(一人読み) グループ交流をする。 全体交流をする。 心を打たれたことを感想に書く。 本時の振り返りと次時の見通しをもつ。</p>	四人は手をつなぎ...」「記念写真...」に着目することを通して、幸せなちいちゃんの様子や「かげおくりなど...」「空は...こわい所」に着目することを通して、悲しくなるちいちゃんの気持ちを読み取り、心を打たれたことを感想に書いている。 読(1)ウ・エ・オ 書(1)ウ
	4	お母さんとはぐれて、ひとりぼっちになるちいちゃんの様子や気持ちを読み取り、心を打たれたことを感想に書くことができる。	<p>前時の学習を振り返る。 課題を確認する。</p> <p>お母さんとはぐれて、ひとりぼっちになるちいちゃんの気持ちを読み取り、感想を書こう。</p> <p>第2場面を個人音読する。 ちいちゃんの気持ちが分かる行動や会話文、様子の言葉にサイドラインを引き、ちいちゃんの気持ちを考える。(一人読み) グループ交流をする。 全体交流をする。 心を打たれたことを感想に書く。 本時の振り返りと次時の見通しをもつ。</p>	「お母ちゃん...」「ひとりぼっちになりました」に着目することを通して、悲しくて辛いちいちゃんの気持ちを読み取り、心を打たれたことを感想に書いている。 読(1)ウ・エ・オ 書(1)ウ
	5	「なくのをやっところえて」「家はやけおちて...」や「こわれかかった」「暗い」「少し」という言葉やそのくり返しに着目することを通して、辛くて悲しくて寂しく心細さの中にお母さんとお兄ちゃんの帰りを	<p>前時の学習を振り返る。 課題を確認する。</p> <p>お母さんとお兄ちゃんの帰りを待つちいちゃんの気持ちを読み取り、感想を書こう。</p> <p>第3場面を個人音読する。 ちいちゃんの気持ちが分かる行動や会話文、様子の言葉にサイドラインを引き、ちいちゃんの気持ちを考える。(一人読み) グループ交流をする。 全体交流をする。 心を打たれたことを感想に書く。</p>	「なくのをやっところえて」「家はやけおちて...」や「こわれかかった」「暗い」「少し」という言葉やそのくり返しに着目することを通して、辛くて悲しくて寂しく心細さの中にお母さんとお兄ちゃんの帰りを信じて待つちいちゃんの気持ちを読み取り、心を打たれたことを感想に書いている。

		信じて待つちいちゃんの気持ちを読み取り，心打たれたことを感想に書くことができる。	本時の振り返りと次時の見通しをもつ。	読(1)ウ・エ・オ 書(1)ウ
	6	本時		
	7	公園で幸せそうに遊ぶちいちゃんくらいの子どものたちの場面を読み取り，心を打たれたことを感想に書くことができる。	<p>前時の学習を振り返る。 課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>第1～第4場面までと第5場面を比べて感想を書こう。</p> </div> <p>第5場面を個人音読する。 ちいちゃんの気持ち分かる行動や会話文，様子の言葉にサイドラインを引き，ちいちゃんの気持ちを考える。(一人読み) グループ交流をする。 全体交流をする。 心打たれたことを感想に書く。 本時の振り返りと次時の見通しをもつ。</p>	「きらきらわらい 声を上げて…」に着目することを通して，平和に暮らせる幸せや戦争はしないほうがよいと読み取り，心を打たれたことを感想に書いている。 読(1)ウ・エ・オ 書(1)ウ
3	8 9	これまでのちいちゃんの様子や気持ちを振り返り，まとめの感想を書くことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習をふりかえって，まとめの感想文を書こう。</p> </div> <p>今まで学習してきたちいちゃんの様子や気持ち，そのときの自分の感想(ちいちゃんへの手紙)を振り返り，まとめの感想文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き出しのれい むすびのれい を読んで「はじめ」と「おわり」の書き方を工夫する。 ・「中」の書き方を知り，一番心を打たれた場面を中心に工夫して書く。 ・初発の感想では，深く読み取れなかったちいちゃんの深い悲しみや平和の幸せに気づいた感想を書く。 <p>本時の振り返りと次時の見通しをもつ。</p>	今まで読み取ってきたちいちゃんの様子や気持ちをもとに，初発の感想では読み取れなかったちいちゃんの悲しみや平和の幸せを書いた感想を，本文を引用したり，自分の考えや体験を入れたりして書いている。 読(1)ウ・エ 書(1)ウ 伝国(1)イ(オ)
	10 11	感想文を交流して，いろいろな感じ方・考え方が分かる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>感想文の交流会をして，友だちの考えと自分の考えを比べよう。</p> </div> <p>感想文を発表する。 友達の考えと自分の考えを比べながら感想を聞く。 メッセージカードを書く。 ・メッセージカードには，自分が考えなかった友達の考えのよさについて書く。 メッセージカードを交換する。 本時の振り返りをする。</p>	友達の感想文を聞き，そのよさを見つけて，友達に伝えたり，友達から聞いたりしている。 読(1)オ 書(1)カ

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

「一つのかげぼうしをみつめながら」「お父さんと...わらいながら歩いてくるのが見えました」「わらいながら、花ばたけの中を走りだしました」「女の子の命が空にきえました」などに着目することを通して、やっと家族に会えたちいちゃんの喜びの気持ちを読み取り、そんなちいちゃんに対する思いを感想に書くことができる。

(2) 本時の展開 (6 / 11)

	学習活動	対話を引き出す手立て
導入	<p>1. 前時までの読み取りを振り返る。(教材との対話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんとはぐれてしまい、ひとりぼっちになったちいちゃんは、かわいそうだ。 ・ちいちゃんはひとりぼっちになってこわかったらうな。 ・早くお母さんとお兄さんに会えるといいね。 <p>2. 本時の課題を確認する。</p>	<p>前時までの学習をまとめた掲示物を活用して内容の振り返りをする。</p> <p>前時までに読み取る手がかりとなった読み取りの技「会話文、ちいちゃんの行動、様子がわかる文」を押しさえる。</p>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>一人でかげおくりをするちいちゃんの気持ちを読み取り、感想を書こう。</p> </div> <p>3. 課題を写し終わった児童から、第4場面の個人音読をする。</p> <p>4. ちいちゃんの気持ち分かる所にサイドラインを引き、ちいちゃんの気持ちを読み取る。(自分との対話) ペア交流に発展してもよい。</p>	<p>言葉を見つけることにつまずいている児童には、「読み取りの技」の掲示を指し示し、着目するとよい言葉を見つけることができるようにする。</p> <p>叙述に即した発言を認め、板書で位置付ける。</p>
	<p>5. ちいちゃんの気持ちを中心にグループ交流をする。(仲間との対話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お兄ちゃんのわらいそうな声も聞こえたから、楽しかったと思います ・「青い空に、くっきりと白いかげが四つ。『お父ちゃん』ちいちゃんはよびました」から、やっと家族に会えて、うれしかったと思います ・「きらきらわらいだしました」とあるから、ちいちゃんは、死んでしまったけれど、幻の中で家族と会えてうれしかったと思います。 ・ちいちゃんは、やっと家族に会えてうれしかったと思います。訳は、「わらいながら、花ばたけの中を走りだしました」と書いてあるからです。 ・「おとうさんと...わらいながら歩いてくるのが見えました」から、ちいちゃんは家族と一緒になれて幸せだったと思います。 <p>6. グループ交流を生かして、ちいちゃんの行動や会話、様子を表す言葉などから、感想を交えてちいちゃんの気持ちを話し合う。(仲間との対話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「声が空からふってきました」と書いてあるから、本物のお父さんお母さんに会えた訳ではないので、かわいそうだと思います。 ・さんと同じ「一つのかげぼうしをみつめながら」のところで、4人のかげおくりをしているのでかわいそう。幸せとは言えないと思います。 ・同じ意見ですが、違うところで「体がすうっとすきとおって、空にすいこまれていく」とあるので、ちいちゃんは死んだからかわいそう。だから本当に幸せではないと思います。 ・「小さな女の子の命が空にきえました」とあるので、死んで家族に会えても幸せではないと思います。 ・私は、みんなと少し違って、夢でも家族に会えたから、かわいそうだけど幸せだったと思います。 	<p>前時までの場面と比べた発言を認め広げる。</p>
終末	<p>7. 4場面、心打たれたことを感想に書く。(自分との対話)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「ちいちゃんは、きらきらわらい...、花ばたけの中を走りだしました」とあるけど、「小さな女の子の命が、空にきえました」とあるので、ちいちゃんは 夢の中で家族にやっと会えてうれしかったと思うけど、やはり、死んでしまったので、かわいそうだと思います。できれば、お母さんにもお父さんにもおにいさんにも生きている間に会えるとよかったです。家族みんなの命をうばうような戦争は、絶対にしてはいけなかったと思います。</p> </div> <p>8. 本時の振り返りと次時の見通しをもつ。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価規準</p> <p>「お父さんと...わらいながら歩いてくるのが見えました」「わらいながら、花ばたけの中を走りだしました」「一つのかげぼうしをみつめながら」「女の子の命が空にきえました」などに着目することを通して、やっと家族に会えたちいちゃんの喜びの気持ちを読み取り、ちいちゃんへ家族に会えてよかったけれどかわいそうだななど心打たれたことを感想に書いている。</p> </div> <p>本文を引用したり、理由や自分の体験を入れたりしながら書いている感想を価値づける。</p>